



『しずかに! こはどうぶつのとしょかんです』
ドン・フリーマン／作 なかがわ ちひろ／訳
BL出版

カーリーナは、どうぶつだけがとしょかんにはいれるひをかんがえました。カナリアがいちばんのり、つぎにライオン、くま、ぞうとやってきて、どうぶつたちでとしょかんがいっぱいになると…。



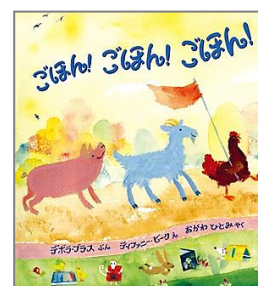
『としょかんのよる』
ローレンツ・パウリ／文 カトリーン・シェラー／絵
わかまつ のりこ／訳 ほるぷ出版
ネズミをおいかけて、キツネがはいったのはとしょかんでした。しずかにするよう、ネズミにちゅういされたキツネは、すすめられたえほんをよんでみることにしました。



『ステラのえほんさがし』
リサ・キャンベル・エルンスト／作
ふじわら ひろゆき／訳 童心社
ステラは、としょかんでかりたほんをなくしてしまいました! ほんはつぎつぎにべつのひとのてにわたっていたようで…。ほんはみつかるのでしょうか?

としょかんへいこうのえほん

幼児向け



『としょかんへ ぴょん!ぴょん!ぴょん!』
アニー・シルヴェストロ／文 タチアナ・マイ＝ウィス／絵
ふくもと ゆみこ／訳 絵本塾出版
うさぎはほんがすきです。でも、どうぶつだからとしょかんにはいけない、とあきらめていました。あるよる、がまんできなくなったうさぎは、としょかんにはいってみようと、いえをとびだしました。

『ごほん!ごほん!ごほん!』
デボラ・ブラス／ぶん ティファニー・ビーク／え
おがわ ひとみ／やく 評論社
まきばのどうぶつたちが、としょかんにいきました。でも、なきごえでは、ししょさんにことばが伝わらなくて、こまってしまいます。



『ポチポチのとしょかん』
いがわ ゆりこ／文・絵 文溪堂
あるひ、としょかんのまどをみると、そこにはこいぬがいた。こいぬに「ぼくのとしょかんへいってみないかい?」とさそわれて、ぼくはいってみることにしたんだ。